

＜ あなたの治療について ＞

泌尿器-Cabazitaxel-前立腺-q3w

今回の治療は、Cabazitaxel 療法という治療法で、ジェブタナという注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1～21日目
	プレドニゾン (ステロイド)	内服	

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～21日目
①	レスタミン (アレルギーを抑える薬)	内服		お休み
②	デキサート ファモチジン (アレルギー予防・ 吐き気止め)	点滴 約15分		
③	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分		
④	ジェブタナ (抗がん剤) 25 mg/m ²	点滴 約1時間		

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について（頻度 20%以上）

ジェブタナによる

●好中球数減少 ●悪心 ●疲労

◎特徴的な副作用について

ジェブタナにおける

●過敏症状

「さむけ、ふらつき、汗をかく、発熱、意識がうすれる、口唇周囲のはれ、息苦しい、かゆみ、じんましん、発疹」などの症状

●不整脈

「めまい、胸がドキドキする、胸の痛み、気を失う」などの症状

●腎不全、腎機能障害

「むくみ、全身のけいれん、貧血、頭痛、のどが渇く、吐き気、食欲不振、尿量が減る、無尿、血圧上昇」などの症状

●肝不全、肝機能障害

「吐き気、嘔吐、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる」などの症状

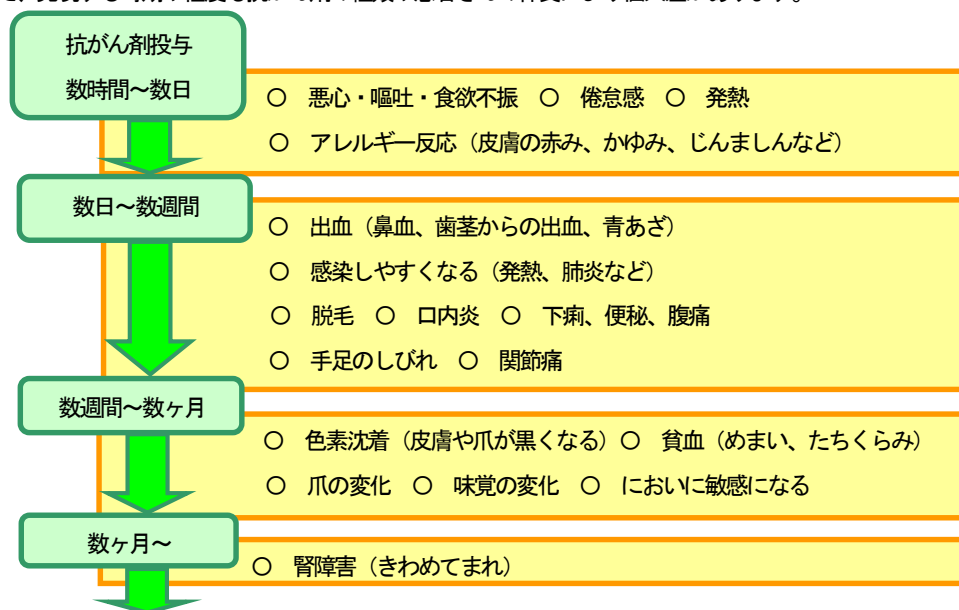
***上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ジェブタナ】

〔骨髄抑制〕 からだがだるい、発熱、鼻血

〔感染症〕 かぜのような症状、からだがだるい、発熱

〔末梢神経障害〕 運動のまひ、感覚のまひ、手足のしびれ

〔重篤な下痢〕 汗をかく、吐き気、激しい腹痛

〔腎不全〕 むくみ、全身のけいれん、貧血

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。
他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。